

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年1月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4694300015
法人名	株式会社 スローライフ
事業所名	グループホーム 絆
所在地	鹿児島県南九州市川辺町高田1238番地4 (電話) 0993-58-3838
自己評価作成日	令和元年12月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和元年12月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームを開設して12年目となりますが、いろいろなことを経験しました。何事も利用者様を第一に歩んできたつもりですが、施設の都合での課題も増えてきたと反省する部分があります。人材不足により思うように活動できなかったり、利用者の希望通りに介護できているか?と思いつくような課題もあります。しかし、開設時からの根本的な「食を楽しむ」ことの重要と捉え、これからも地域との連携、他業種との協働を大事に進めていきたいと思っております。また、職員の皆さんも毎日利用者のためにケアを頑張っています。働く人にとっても働きやすい職場でありたいと思っております。

- ・当事業所は、災害時の避難場所を『みどり苑』と協定を結び、速やかな避難を念頭にしている。
- ・地域とのつながりを大切にし、校区文化祭に作品を出品したり、小学生の訪問授業を受け入れ交流がある。
- ・運営推進会議で2ヶ月毎に身体拘束適正委員会を開いたり権利擁護の研修を行って、利用者の尊厳を大切にしている。
- ・施設内外の研修を受けやすい環境づくりや業務改善会議、業務環境の整備などに努めている。
- ・利用者の残存機能の保持や役割、楽しみ、居場所をもった支援を行って家族から信頼を得ている。
- ・外出支援、忘年会、音楽教室、保存食づくり、昔話、歌、調理補助、ふうせんバレー、お手玉取りゲーム等、入居者の思いを大切に支援し、心のケアが行き届く暮らしができる支援を行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	以前に見直しを行った理念を申し送り時に毎日その日の職員で唱和を行い時々定例会時にそれについての理解を深めるための確認を行う	理念をホールに掲示し毎朝朝礼時に唱和し意識づけしている。定例会の時に振り返りを行い確認している。内容を話し合い実践につなげている。一度見直しを行い、地域密着型の意義を踏まえて作成している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の自治会に加入、天気の良い日の散歩時、季節の野菜を頂いたり地域の方の情報をもったりと日常交流を行っている、また、校区文化祭への作品出品は恒例になっている	自治会に加入し回覧板で情報を得ている。地域行事の文化祭に作品を出品したり、運動会や夏祭りに参加している。小学生の授業訪問を受け入れたり、ふれ合いがある。地域から認知症の相談を受けることも多く高齢者の支援に協力している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	日頃の交流から地域の高齢者に関する相談を受けることが多くある、また、小学生の訪問を毎年受け入れて交流を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議を通して地域の消防団、公民館長、民生委員の方と意見を交わしてサービスの向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月毎に開催している。入居者の情報、事業所の行事等の近況報告、ヒヤリハット、外部評価の結果報告等を行い意見交換している。身体拘束に関する適正化委員会を毎回行っている。民生委員の声掛けで情報等、運営に反映させている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議を始め、通常の疑問点の問い合わせ相談を気軽に行い協力関係を築いている</p>	<p>窓口に出かけたり電話、運営推進会議等でホームの情報や相談をして助言を貰っている。福祉事務所とも連携を取って年に1回の訪問がある。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>年二回の研修において身体拘束をしないケアを理解して可能な限り、身体拘束をしないケアを目指している。また、安全確保のために必要な場合は同意書を得られ、適正委員会に報告している</p>	<p>身体拘束適正委員会を定期的で開催しマニュアルを基に、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中は玄関の鍵はしていない。夜、不眠の入居者にベッド柵を設ける時は、同意書を交わし適正委員会に報告している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>施設内、外の研修により学ぶ機会を持ち、虐待防止に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護の研修を行い必要時に活用できるよう努めている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約、解約、改定時には内容の確認に努め問い合わせには真摯に応じている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日常生活の中で利用者の思いに耳を傾け家族には病院受診に出来る限り付き添いをお願いして意見や要望を聞くようにしている	利用者からは日常のケアの関わりで、声かけや動作・表情で把握している。家族からは医療機関受診時や絆の日にお茶や食事を摂りながら意見や要望を聞いている。面会時や運営推進会議・便り等で日常の様子を伝えながら把握している。意見は運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定例会、業務改善会議、申し送り時の話し合いでの小さな意見も聞けるようにして出来るだけ運営に反映できるよう努めている	職員とはコミュニケーションを取っており、意見を言いやすい環境を整えている。定例会や業務改善会議・申し送り・連絡ノートで把握している。意見はトイレの不具合やケアに関する事等があり、運営に反映するように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の頑張りや、実績状況、を踏まえて各自が向上心を持って過度な負担なく働けるよう環境、条件の整備に努めている</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者と職員全員が施設内外の研修を受けやすい環境作りに努めている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県、地区の協議会と南九州市専門部会に加入して、研修、会議、交流会には出来る限り参加して情報を、サービスの質の向上に活かしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	入所前の聞き取り時の面接を重要に捉え安心できるよう努めている		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	初期の家族からの細かい情報に耳を傾け、家族の思いを理解した上での信頼関係を作れるよう努めている		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	本人、家族の思いを確認、必要な支援を行うよう努めている		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	その方のできることには見守る姿勢で、手伝っていただけることも多く、職員も理解したケアが行えている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月発送する「絆便り」で利用者の日々の様子をお知らせして情報を共有して関係を築いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	これまでの馴染みの関係を大事に途切れないよう支援に努めている	友人や親戚・子供・兄弟の訪問がある。お茶を出してゆっくりできるように対応している。馴染みの美容室に出かけたり買い物に同行し外出に出かけることもある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の中での摩擦、トラブルは日常茶飯事であるが、その関係性で孤立することがないように支援に努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約完了時、以後も相談に応じること説明しており孤立しないよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	重度化して思いを伝えられなくなった方もいる中で行動や発した言葉を重要と捉えて職員間で共有している	入居時に生活歴を参考にしたり、日々の暮らしの中で思いを把握している。困難な場合は昔の話聞かせてもらったり音楽の話をしたり、言葉に工夫をして職員と共有して対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントの内容を回覧、話し合い情報を共有に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	レクリエーションへの参加、外の散歩等無理強いしないで、本人の状態の把握、思いを理解するよう努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画には本人の現状、家族の思いをもとに課題を捉えて作成している	本人や家族の意向を把握して家族の来訪時に担当者会議を開いて介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月で実施、状況に変化があった時はその都度見直し、状況に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケース記録には全員が実践、結果、気づいたことを記入して共有した上でケアの実践に活かしている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>毎日の日課は決めてあるがイレギュラーな日々も多く、利用者が興味のあることには柔軟に取り組んでいる</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域との関係を大事に豊かな暮らしができるよう支援している</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者のこれまでのかかりつけ医と事業所の関係を築き、別な科目の医療が必要などときはその都度適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>希望のかかりつけ医になっている。多い方は4～5ヶ所受診している。受診は家族の協力を得たり、職員が同行する場合もある。緊急時は同意書の連絡先に連携し支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	施設内に看護師が常勤しており利用者の健康管理、適切な受診、看護を受けられるよう支援している		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時、中途での医師からの説明時には必ず立ち会い情報を共有して施設側の情報も速やかに提供している		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入所時に重度化、終末期の説明をしてうけたことへの同意書してもらい、重度化した時は意思確認書で確認を行い支援に取り組んでいる	重度化や終末期に向けた指針があり、入居時に説明し同意書を交わしている。状況の変化により、その都度、主治医・家族・職員で話し合い、意思確認書もある。入院も視野にいれている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	急変、事故発生時のマニュアルの研修を行い実践に備えている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>近くに河川があり3年前床下浸水を経験しており、速やかに避難協定書を結んでいる「川辺みどり園」への避難を行っている、また、それ以後職員の意識向上、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練は年2回消防署立ち合いで行っている。避難協定を『川辺みどり苑』と結んでいる。避難場所、避難経路、緊急通報装置の確認をしている。地域の協力があり緊急通報装置に近隣住民を登録している。備蓄は米・水・缶詰・インスタントラーメン等を準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の人格に配慮した言葉かけ対応を行えるよう、努めている	勉強会を実施している。トイレ介助時の声かけ、入室のロック、名前の呼び方は、さんづけか好む呼び方等に配慮し、人格の尊重とプライバシーの確保に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望を出せるよう配慮した環境作りを行い自己決定を支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常的な決まりはあるが利用者の生活のペースを大事に希望に添えるよう支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の着たい服を選んでもらい利用者が気分良く過ごせるよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>「食する事」を基本にしており季節の旬、行事食、郷土料理と一緒に準備～片付けまで会話しながら楽しんでいる</p>	<p>一人ひとりの嗜好を把握してとろみ食やきざみ食を提供している。健康状態にも気配りして提供している。行事食はおせち料理や誕生日にケーキ等で楽しんでいる。差し入れの野菜や季節の野菜・つわ等を取り入れて、皮むきしたりして、食事を楽しんでいる。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者に応じた食事摂取量、水分量を確保できるよう支援している</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後利用者に応じた口腔ケアを習慣として支援している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を記入して利用者の状態に合わせた支援を行っている	排泄チェック表を用いて排泄時間のパターンを把握して、できるだけトイレでの排泄を支援している。夜間のみポータブルトイレ使用の方もいる。退院後に排泄の自立が改善された事例もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	外への散歩ができる方は行い、飲食物の工夫を行い予防に取り組んでいる		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日の設定はあるがいつでも入浴できるよう環境を整えて支援している	入浴は週に3回であるが、いつでも入浴でき柔軟に支援している。シャワー浴も対応している。入浴拒否の時は、時間をずらして声かけしたり、言葉かけに工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安心して休息、安眠できるような環境作りに努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用している薬のファイルを共有して度々変わる薬の内容を共有している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者が自分らしく生活できるよう生活歴をもとに支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	家族との施設外への外出を支援している、また、施設では約2ヶ月に1回の外出で買い物、外食を行い気分転換をできるよう支援している	日常は散歩や外気浴をしている。年間計画を立てて、家族の協力もあり、初詣やみかん狩り・外食・買い物等に出かけて楽しんでいる。地域の行事や文化祭・夏祭り・運動会にも参加して楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在は自分で金銭管理できる方がいないが、その時々で支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族や知り合いに自分で電話をかけたり手紙をかけるよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間は、明るく利用者の心地よい空間であるよう配慮している、また、季節感の飾り物、利用者の制作物を展示している</p>	<p>木の温もりのするリビングは広くて明るい。窓から川のせせらぎと花見もできる。採光も柔らかく温度・湿度の空調管理が良く落ち着ける雰囲気がある。ソファも随所に置かれテレビを見たりゆっくりくつろげる空間がある。対面式の台所から入居者との会話や食事の支度も見える。ピアノもあり、入居者同志の席にも配慮があり、居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールは広くゆっくりした配置となっており、ソファでくつろぎ新聞を読む姿が見られる</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>安全な私物の持ち込みはOKであり、本人の使いやすいよう小机や、小さな書箱を取り入れて居心地よく過ごしている</p>	<p>居室はベッド・エアコン・タンスが設置してある。家から持ち込まれた机・本・家族写真・小物・日記帳などがあり、居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者の状態に配慮してその都度職員が話し合い、安全な環境作りに工夫している</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない